

## 学校教育目標

志を持ち、心豊かでたくましく、よく学び考える 妹背牛の子



# もせうし小だより



4年生 図工作品  
空き容器の変身



妹背牛町立妹背牛小学校 学校だより 令和8年1月30日発行No.11  
発行：戸澤 法史 文責：穂山 拡希

## 新年の幕開けです

校長 戸澤法史

雪や曇り空の中、令和8年が幕を開けました。初日の出は見ることはできませんでしたが、テレビに映る初日の出を見ながら「今年も穏やかな1年になりますように」と願いました。しかし、6日には鳥取県や島根県で大きな地震が発生し、災害への備えの大切さを改めて考えさせられました。

さて、今年は午年ということで、「行動力・活発さ・前進」を象徴する年とされています。具体的には、「新しい挑戦や改革に向いていること」「行動が成果につながりやすいこと」などが挙げられます。これを学校教育に例えると、「新しい取組を始めるのに適した年」「子どもたちの“やってみよう”という思いを後押しすることで、その力が一層伸びやすい年」と言えます。一方で、取組の成果を確かめるための振り返りも大切になります。そこで2026年も、「前例踏襲」や「例年通り」に陥ることなく、**子どもたちが主語となる教育活動や子どもたちの意欲を伸ばす教育**をこれまで以上に推進していきたいと考えています。

先日、24日間の冬休みを終え、学校に再び活気が戻ってきました。元気よく登校する子、少し眠そうな子、大きな自由研究を抱えてくる子など、登校の様子は様々でしたが、わずか24日間とは思えないほど、一人ひとりが一回り大人っぽく成長したように感じられました。全校集会では、冬休み中の出来事について子どもたちに尋ねました。スキーに出かけたこと、雪遊びをしたこと、誕生日のお祝いをしてもらったこと、少年団の大会で活躍したことなど、それぞれの思い出をつくり、充実した時間を過ごした様子が伝わってきました。

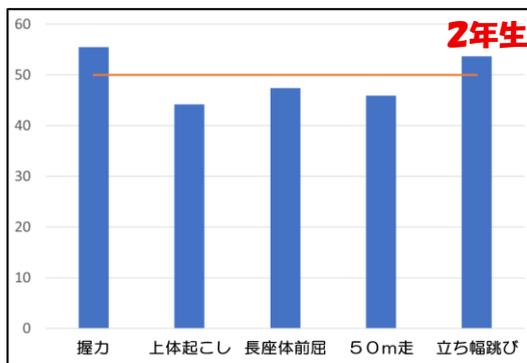
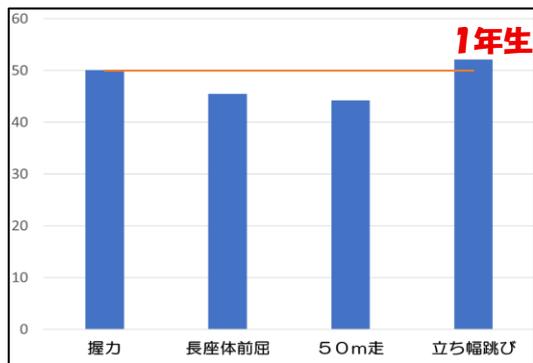
後期後半は45日間（6年生は43日）と1年間で最も短い期間です。しかし、1年間のまとめとなる大切な時期であり、新学年へ向けての準備の期間でもあるため、最も忙しい時期でもあります。子どもたち一人ひとりが今の学年での学びや生活をしっかりと振り返り、次へつなげていくことを期待しています。また、6年生にとっては、いよいよ小学校生活の最後を迎えます。小学校の集大成として、充実した日々を送ってほしいと願っています。

終わりになりますが、子どもたちに必要な資質・能力を育むためには、学校での教育活動だけでなく、家庭や地域の皆様のご理解とご協力が欠かせません。今後も連携を大切にしながら教育活動を推進していきたいと考えております。本年も子どもたちのために「知・徳・体」のバランスのとれた資質・能力を育成できるよう、学校評価等で皆様方からいただいたご意見を参考にしながら今年度の取組を振り返り、来年度に向けた具体的な取組を検討してまいります。保護者・地域の皆様方におかれましては、「子どもたちの成長」のため、本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

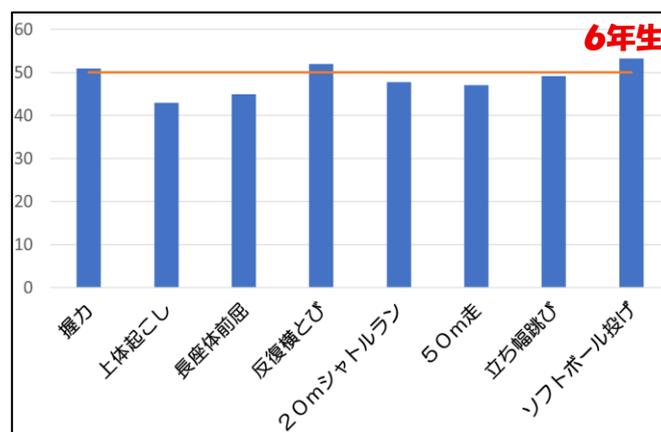
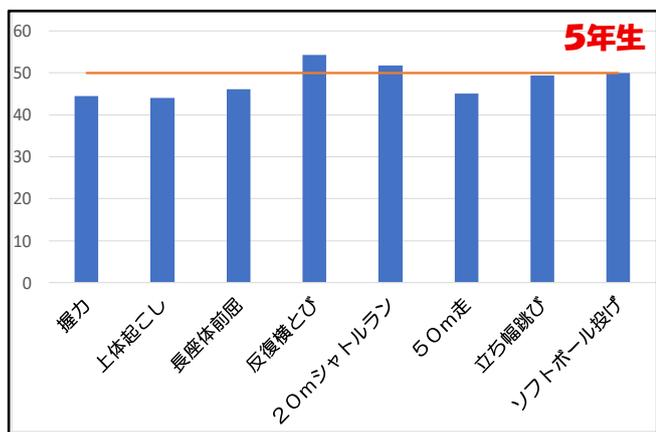
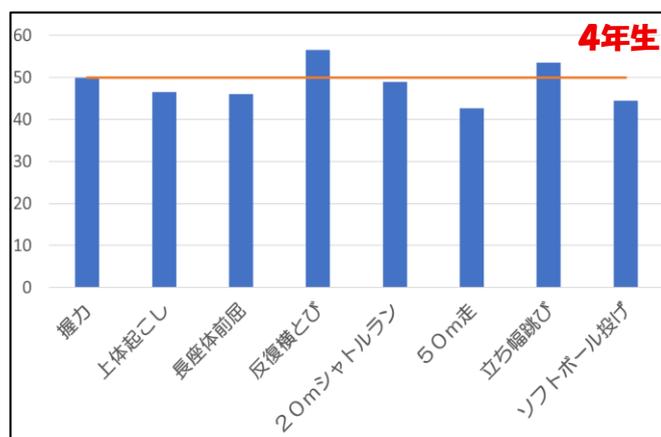
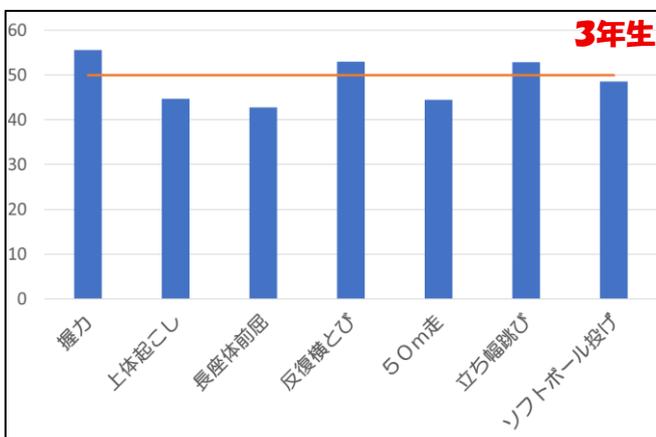
# 令和7年度 新体カテストの結果について

6月11日（水）に全校一斉に実施した新体カテスト結果、またその結果から年間を通して取り組んだ体力・運動能力向上の取組をお知らせします。（学校だより6月号にて、取組の状況をお伝えしております。合わせてご確認ください）

## 【新体カテスト 各学年集計結果グラフ】



☆妹背牛小学校では、学年が進級に応じて実施項目が増えていきます。  
☆グラフの横オレンジ線は、令和6年度の全国平均値を表しています。（目安としてご確認ください。）



## 新体カテスト調査種目について

- ①握力(全学年) ～握力計で筋力を測定します。左右交互に2回測り、数値の高い方を選びます。
- ②上体起こし(2年生以上～) ～両膝をおさえた状態で30秒間何回起き上がったか、筋持久力を測定します。
- ③長座体前屈(全学年) ～足を伸ばして座り、前にどのくらい体を倒すことができたか、柔軟性を測定します。
- ④反復横とび(3年生以上) ～3本のラインをステップし、20秒間に何回跳べたか、俊敏性を測定します。
- ⑤20メートルシャトルラン(4年生以上) ～時間内に20メートル間に何回走りきれたか、全身持久力を測定します。
- ⑥50メートル走(全学年) ～50メートルを何秒で走れたか、走力を測定します。
- ⑦立ち幅とび(全学年) ～両足で同時に前へどれだけ跳べたか、跳力を測定します。
- ⑧ソフトボール投げ(3年生以上)  
～ソフトボール1号球（直径8.5cm 重さ141g）をどれだけ投げられるか、遠投力を測定します。

前頁の結果グラフから、全国平均を下回る種目も見られるものの、令和6年度の結果と比較すると、全国平均を上回る種目がわずかながら増えてきていることが分かりました。

中でも、「握力」「反復横跳び」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」については、ほとんどの学年で全国平均並み、またはそれ以上の結果となっており、タイミングよく大きな力を発揮することを得意とする傾向が見られます。

一方、「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」は、実施した全ての学年で全国平均を下回っており、「20mシャトルラン」の結果も含め、持久力（粘り強さ）や体の柔らかさを高めることが、全校的な課題となっています。



また、全国の小学5年生・中学2年生を対象とした「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」があり、その結果が先日届きました。調査は「実技調査」「質問紙調査」により構成されています。「実技調査」は、前頁で紹介した新体力テストの結果に準じているため、「質問紙調査」の結果を一部紹介します。

#### <全国平均と比べ、肯定回答率が高い質問>

- ・運動やスポーツをすることは好きですか。・運動やスポーツをすることに興味がありますか。
- ・中学校に進学したら、授業以外でも自主的に運動・スポーツをする時間を持ちたいと思いますか。
- ・体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。
- ・体育の授業は楽しいですか。（体を動かす。色々な種目を体験する。できなかったことができるようになる。）

#### <全国平均と比べ、肯定回答率が低い質問>

- ・運動やスポーツを見ることに興味がありますか。
- ・運動やスポーツを通じて色々な人が集まって交流し、つながりや一体感を感じることに興味がありますか。

これらの結果から、自分に合った運動の目標を立て、友達と学び合いながら進んで運動に取り組むことができるよう、取組を工夫する必要があることがわかりました。



新体力テストの結果から見られた課題を踏まえ、本校では、体を動かす機会を意図的に増やす取組を進めてきました。全学年で体育の授業のはじめに短時間走を取り入れたり、休み時間の外遊びや卓球台の設置などにより、日常的な運動機会を確保したりすることで、基礎体力の向上に取り組んでいます。

また、マット運動や跳び箱運動などの器械運



動の指導においては、体育エキスパート教員を招き、運動の特性に応じた効果的な練習方法を教職員が学び、授業に生かすなど、体育授業の質の向上にも努めてきました。これら取組は、全国体力調査の結果を受けた課題の改善にも繋がるものと考えています。

今後も校内での体力向上や運動機会の確保に努めるとともに、妹背牛町スポーツ協会による「月一朝ラン会」や「スポーツ体験会」などへの参加を呼びかけ、地域の関係機関と連携しながら、楽しく体を動かせる機会を広げていきます。ご家庭におかれましても、放課後や休日に運動する機会を持つことや、規則正しい生活リズムを心がけることなど、引き続き運動習慣づくりと体力向上へのご協力をお願いいたします。

## 学校再開 ～進級・進学にそなえる大切な時期です

冬休みが終わり、学校生活が再スタートしました。24日間の冬休み期間中、大きな事故などの連絡もなく、全員が元気に再会することができました。冬休み中は冷え切っていた校舎も、子ども達のエネルギーで再び活気づいています。

この時期は、これまでの成長を確かめながら、進級・進学に備える大切な期間です。子どもたちがこの時期を元気に過ごせるよう、今後も健康的な生活リズムの維持や感染症予防について呼びかけていきます。ご家庭並びに地域関係機関の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 「赤い羽根共同募金」の取組・寄託を行いました

12月に、児童会書記局による「赤い羽根共同募金」の取組を行いました。皆様からお寄せいただいた募金の総額は、15,559円となりました。12月19日（金）には、児童会書記局の児童が、妹背牛町社会福祉協議会 会長の中易様へ、直接募金をお渡ししました。本活動は、地域の福祉に募金という形で貢献する貴重な体験となりました。活動に携わった児童会書記局はもとより、温かいご協力をいただいた各ご家庭の皆様に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



## 冬休み学習教室を実施しました ～学習習慣の確立に向けて～

12月23日（火）から25日（木）までの3日間、冬休み学習教室を実施しました。33名の児童が、冬休みの宿題やワークなどを持ち寄り、1日約90分間、集中して学習に取り組みました。冬休み学習教室をはじめ、冬休み期間中に取り組んだ自主学習は、今後の学習内容の理解につながるとともに、学習意欲の向上にも結び付くものと考えています。この経験を生かし、今後も家庭学習などに主体的に取り組んでくれることを願っています。



## 冬休みの作品大集合 1月30日（金）まで冬休み作品展を開催します

学校生活が再開して2週間が経ちました。各学級では、夏休み明けと同様に「冬休み作品の発表会」を行った学年も多く、子ども達は長い休みの期間を利用して制作した自慢の力作を紹介することができました。一生懸命に取り組んだ作品からは、一人ひとりの努力の跡や、作品に込めた思いが感じられました。これらの作品は、1月30日（金）まで玄関ホールに展示し、学年の枠を越えて互いに鑑賞し合えるようにしています。休み時間には、友達や他学年の作品を見て、よさを認め合う姿も見られました。

また、冬休み作品展終了後の2月20日（金）から26日（木）まで、町民会館にて学校作品展が開催されます。中学生の作品も展示されますので、ぜひ足をお運びいただき、子ども達のがんばりをご覧ください。



## 一人ひとり、確実に上達しています！ ～スキー学習を終えて

1月21日（水）から30日（金）まで、スキー学習を実施しました。今年度は、低学年が沼田町高穂スキー場で、中・高学年が旭川市カムイスキーリンクスで学習を行いました。また、1月19日（月）・21日（水）には、1年生がスキー場での学習に向け、学校敷地内の築山で事前練習を行いました。スキーの着脱や歩行、滑走などを丁寧にこなす姿が多く見られ、ご家庭で事前にスキーに慣れる機会をご用意いただいていたことが伝わってきました。

一年生のみならず、全学年のスキー学習実施にあたり、用具の準備や金具の調整、お弁当の用意など、各ご家庭には多大なるご協力をいただきました。また、今年度もスキー連盟の皆様にご講師としてご指導をいただきました。

ご家庭ならびに関係の皆様へ、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



スキー学習終了後にリフト代を集めます。登録口座からの振替となるため、あらかじめご了承ください。シーズン券をもっている家庭、欠席の場合はリフト代がかかりません。

□1回あたり、低学年500円、中・高学年700円（就学援助を受けている家庭は500円）  
2回のスキー授業参加では、低学年1,000円、中・高学年1,400円になります。

## お子さんの学校での様子をご覧ください

2月26日（木）に、今年度最後の授業参観・学級懇談を予定しております。進学・進級を控え、学習や生活のまとめに一生懸命に取り組む子どもたちの姿を、ぜひご覧いただければと思います。

授業参観後には、学級担任より、この1年間のお子さんの成長の様子や、進級・進学に向けたお話をいたします。保護者の皆様のご来校、ご参加を心よりお待ちしております。

なお、参観日当日は玄関ホールにて校内版画展も開催しています。あわせてご鑑賞ください。

## 今年度最後の家庭学習強調週間は2月2日（月）～8日（日）です

今年度3度目となる「家庭学習強調週間」を実施します。これは、学校だけでなく、PTAとも連携して取り組む活動です。強調週間に向けて、事前に家庭学習の目標時間を設定し、学年の実態に応じた学習計画を立てた上で取り組みます。自分で立てた目標を意識し、達成を目指すことや、期間中はメディアの利用を意識しながら、自分なりに時間を管理する経験を通して、この時期だからこそ身に付けたい力を育てていきます。

ご家庭におかれましても、お子さんが学習習慣を身に付けられるよう、学習しやすい環境づくりや温かい励ましの声かけへのご協力をお願いいたします。

## 重要 令和8年度の学級編成についてお知らせです 内容をご確認ください

来年度の学級編成についてお知らせします。現在の児童数の見通しでは、令和8年4月より2年生と3年生が複式学級となる可能性があります。学級数や教職員の配置は、国や道で定められた児童数の基準に基づいて決定されており、本校もその規定に沿って検討を進めています。複式学級についてご不安をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、これまでの教育活動で培ってきた少人数指導のよさを生かし、学年ごとの学習内容が確実に身に付くよう、きめ細かな指導を行ってまいります。（現1・2年生保護者の方を対象にした説明会を、12月に実施しています。）

また、妹背牛町には、追加の教員配置による複式解消について要望も同時に行っております。今後も児童の学びを第一に、よりよい教育環境づくりに努めてまいります。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力のほど、よろしくお願いたします。

